

平成 24 年度における FASF の活動概要

公益財団法人財務会計基準機構（FASF）事務局では、企業会計基準委員会（ASBJ）と連携し、ディスクロージャーに関する調査・研究、セミナーの開催、企業会計基準に関する刊行物等による広報活動、国際的に活躍できる人材の育成等、多岐にわたる活動を行っています。

先般、平成 24 年度の事業報告書を公表致しましたが、本コーナーでは、FASF に対するご理解をより深めていただくために、当事業報告書を基に、主に FASF 事務局が推進する活動について報告します。

I. 調査・研究、広報等に関する活動

1. 調査・研究、セミナー

FASF では、産業界、監査法人、FASF 開示室等のメンバーで構成している「有価証券報告書等開示内容検討会」において、毎年、有価証券報告書等の適切な開示のあり方について検討を重ねており、平成 24 年度は四半期報告書、有価証券報告書の作成要領としてそれぞれ「四半期報告書作成上の留意点（平成 24 年 6 月第 1 四半期提出用）」、「有価証券報告書作成上の留意点（平成 25 年 3 月期提出用）」を取り纏めました。

また、当作成要領を基に、会員をはじめとした市場関係者の皆様にディスクロージャー関係の情報をタイムリーに提供するため、年数回、全国の主要都市においてセミナーを開催しています。

これに加え、各企業の財務・経理部門に新たに配属された担当者向けのセミナーとして「開示実務新任者向けセミナー」を平成 23 年度から設け、平成 24 年度も引き続き開催しました。

なお、ASBJ の開発する企業会計基準や国際的な会計基準の動向をいち早く会員の皆様にご案内する「ASBJ オープン・セミナー」についても従来同様、年に 2 回、全国の主要都市において開催するとともに、同セミナーの開催に合わせて各地域の経済団体、監査法人の方々との意見交換会を実施しています。

平成 24 年度には、上記セミナーを計 6 回（全国の主要都市で延べ 31 回）開催し、多くの会員等の方にご来場いただきました。

【平成 24 年度におけるセミナーの開催状況】

開催時期	セミナー名称	開催場所
平成 24 年 4 月	FASF セミナー「有価証券報告書作成上の留意点（平成 24 年 3 月期提出用）」	札幌、仙台、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡
平成 24 年 4 月	ASBJ オープン・セミナー特別講演：Hans Hooger-vorst IASB 議長を迎えて	東京

平成 24 年 6 月	FASF セミナー「四半期報告書作成上の留意点（平成 24 年 6 月第 1 四半期提出用）」	札幌、仙台、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡
平成 24 年 8 月	ASBJ オープン・セミナー平成 24 年度 夏季	札幌、東京、名古屋、大阪、福岡
平成 24 年 9 月	「開示実務新任者向け FASF セミナー」一有価証券報告書及び四半期報告書作成上の留意点の活用方法一	東京、大阪
平成 25 年 2 月 ～3 月	ASBJ オープン・セミナー平成 24 年度 冬季	札幌、東京、名古屋、大阪、福岡

2. 刊行物、ホームページ等による広報活動

FASF では、ASBJ における企業会計基準等の開発状況及び国際的な会計基準を巡る動向等を広く周知することを目的として、年 4 回、機関誌『季刊 会計基準』を発刊しています。当機関誌では、金融資本市場関係者や関係当局の方々に「Accounting SQUARE」という巻頭言にご寄稿いただくとともに、「CFO Letter」というコーナーを設けて上場会社の財務担当役員の方々にも折々ご登場いただいております。

会員の方々はホームページからも『季刊 会計基準』をご覧いただくことが可能となっております。また、ASBJ/FASF の活動状況をよりタイムリーかつ広範にお伝えするため、ホームページを通じた情報配信も積極的に行っています。

この他には、企業会計基準の開発状況やセミナーの開催状況等、ホームページに掲載されている ASBJ/FASF の活動内容をコンパクトな形でメールマガジンとして配信する「ASBJ Newsletter」や、ASBJ の審議状況の動画を Web で公開する「Webcast」を引き続き配信している他、Web セミナーとして実施している「ASBJ Web セミナー」では、コンテンツの充実を図っており、ASBJ が平成 24 年 5 月に公表した「退職給付に関する会計基準」の解説等を追加するとともに、FASF Web セミナーとして「開示実務新任者向けセミナー」を提供しております。

II. 基準諮問会議の開催

「基準諮問会議」は、ASBJ における審議テーマやその優先順位等、同委員会の審議・運営に関する事項について理事会に報告することを目的としております。平成 24 年度は、平成 24 年 7 月、同年 11 月、平成 25 年 3 月の計 3 回、同会議を開催しております。

※平成 24 年度における基準諮問会議の活動内容の詳細は、本誌第 39 号及び本号に掲載しております。

III. ガバナンスに関する活動

FASF ではガバナンスのより一層の強化を図るため、「委員推薦・評価委員会」「適正手続監督委員会」及び「業務推進委員会」を平成 23 年に設置しております。

「委員推薦・評価委員会」については、ASBJ 委員及び委員長の候補者の選考並びに在任中の評価を理事会に報告を行うこと等を目的とし、平成 24 年度は 4 回開催しております。「適正手続監督

委員会」については、ASBJが基準開発を行う過程において必要とされるデュー・プロセスが規定通りに行われることを監視・監督することを目的とし、平成24年度は2回開催し、「基準開発に係るデュー・プロセスの規則」及び「デュー・プロセスの遵守状況に関する継続的なモニタリングについての規則」を取り纏めております。

「業務推進委員会」については、理事長、ASBJ、FASF事務局が行う業務のうち、①国際対応に関する業務、②人材開発に関する業務、③FASFの戦略の企画・立案、④FASFの日常的な業務の各項を遂行し、理事長を補佐することを目的としており、平成24年度も定期的を開催しております。

IV. 国際対応

FASFが東京誘致を支援してきたIFRS財団初の英国外拠点となるアジア・オセアニアオフィスが、平成24年10月に東京/大手町に開設されました。

また、FASFではIFRSをより高品質なものに発展させていくことに貢献するため、IFRS財団や同オフィスの活動に人材面・資金面で協力していくこととしており、現在、ASBJからはIASBに対して常勤スタッフとして2名の研究員を、出張ベースのスタッフとして1名の専門研究員を派遣しております。また、米国財務会計基準審議会（FASB）に対しては1名の客員研究員を派遣しております。

※アジア・オセアニアオフィス設置の経緯等については、本誌第39号に掲載しております。

V. 国際的な会計人材の育成に関する活動

FASFでは、日本経団連、監査法人、アナリスト協会等、関係団体のご協力の下、オールジャパンで国際的に活躍できる会計人材の発掘・育成を中長期的視点に立って実施するための「会計人材開発支援プログラム」を平成24年1月に始動しております。具体的には、主に若手層の育成を対象としたプロジェクトAに25人、シニア層の育成を対象としたプロジェクトBに11人、合計36名の市場関係者にご参加いただき、合計60回のプログラムを実施しており、FASF事務局では、ASBJと協力しながら同プログラムの円滑な運営に努めております。

※「会計人材開発支援プログラム」の活動状況は本誌第38号、第40号に掲載しております。

VI. FASFの事務局

平成25年3月時点のFASF事務局は総計18名となっております。

